

### 平和の誓い新た―戦没者、開拓功労者慰霊祭

7月4日、先人の労苦をしのぶ戦没者、開拓功労者への慰霊音楽行進、慰霊追悼式が開かれました。

音楽行進は、町内中心市街地約1.5キロ区間を行進しました。松岡市郎町長らを先頭に、陸上自衛隊第2音楽



隊、町内4小・中学校、幼児センターからブラスバンド、スクールバンド、鼓笛隊が参加しました。

白い帽子とオレンジ色Tシャツ姿の東川小、カーキ色帽子と黄色いTシャツ姿の東川中両スクールバンドは、色違いでおそろいのイメージ。第三小は青いベレー帽と白いベストで、5年ぶりにスクールバンドの編成参加でした。幼児センター幼児のかわいい鼓笛隊道草館前の第一小児童の一小太鼓にもお父さん、お母さんが沿道いっぱいから声援を送っていました。

続いて開拓の碑前で行った慰霊祭は、遺族、関係者ら約100人が出席。戦没者213柱、開拓功労者・物故者250柱の先人の労苦をしのんで献花し、これからの町発展を誓いました。

### 札幌東川会の総会、約50人の出席で盛会

6月26日、札幌市内のホテルで第32回札幌東川会が開かれました。

年1回恒例の集いです。ふるさとへの思いも新たに、約50人が集まりました。町からは松岡市郎町長、浜辺啓町議長はじめ議会議員も出席。久しぶりの懐かしい顔ぶれとの再開、旧友



7月7日、東14号共同墓地で中国人強制連行事件殉難烈士慰霊祭が行われました。



東和土地改良区（荒川和雄理事長）、旭川日中友好協会（淀川徳（つとむ）会長）、東川町仏教会（会長・風間直樹東川寺住職）ら関係者（団体）が中心となって開いています。

1944（昭和19）年、忠別川江卸発電所建設の関連かんがい用水遊水池工事として強制連行されてきた中国人338人が強制労働させられ、劣悪、過酷な環境の中で88人が犠牲になりました。その供養のため1972（同47）年、同地に「中国人強制連行事件殉難烈士慰霊（石）碑」を建立し、毎年犠牲者の方々を慰霊しています。



との語らいに話が弾みました。多忙な日々の中で忘れていた記憶を再び温め、町の近況の出来事の数々を聞き、よみがえる幼い日々の記憶に新たな思い出を加えて懐かしさに目を細めていました。

### 環境福祉専門学校と韓国から日本語留学生

7月21日、韓国水原市から北工学園北海道環境福祉専門学校（宮島武彦校長）に日本語を学ぶ短期留学研修生46人が入校しました。



宮島校長が研修生を歓迎しました

研修生は水原市内の高校生が中心。8月20日まで1カ月間の短期集中講座で基礎の日本語を学びます。研修生を代表して、ソン・スルギさん

んや一般公募した方の自宅にホームステイし、交流を深めることになっています。また研修の合間に、旭川市の旭山動物園、道立美術館、富良野、美瑛の丘など、各地も見学する予定です。今回の短期日本語留学には、74人もの応募があったということです。水原市側では、今後の講座継続に期待を持っているようです。

### 老人クラブ連合会が楽しみ会

6月30日、東川町老人クラブ連合会（鬼塚義幸会長）が老人保健センターで本年度1回目のお楽しみ発表会を開きました。

町内7クラブなどから約200人が集いました。日ごろの活動成果を披露する年3回の発表晴れ舞台です。

そろいの晴れ衣装もあでやかに、寿老人クラブ6人の皆さんの大正琴演奏で幕開け。カラオケ歌謡曲や舞踊に日ごろのけい古の成果や自慢ののどを披露しました。それぞれ発表が終わると友人の出演舞台上に声援を送り楽しいひと時を満喫しました。



### 交通死亡事故抑止の町内緊急ローラー作戦

東川町交通安全協会（藤田裕三会長）は7月7日、道道旭川旭岳温泉線沿いの東町、南町地区で、死亡事故抑止のための交通安全町内緊急ローラー作戦を行いました。



6月27日午後10時25分ごろ、南町2の道道で、道路横断中の近くの男性（78）が、女性（26）の乗用車にはねられ死亡する事故が発生したためです。男性は道路向かいの自宅に帰宅するところでした。現場は広い直線で見通しが良く、夜

間照明も明るい道路です。夜間交通量は少ないため、通行時に注意力が緩みがち。それが重大事故を引き起こす引き金になりかねません。とっさの判断が遅くなりがちな高齢者は、特に注意が必要です。この日は協会役員サポーター隊約20人が手分けし、沿線約100戸に、交通安全と万が一に備えて夜行反射材の着用を呼びかけました。町内死亡事故ゼロ日記録は、千422日でストップしました。